

SAMPLE



ポリオレフィン

Polyolefins

お申し込み >

☆RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY

★No. 3277 Feb 24 2021

Copyright(C) 2021 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 18:30 JST Feb 24 2021<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

試読 >

◎お知らせ

○「第3回立ち寄りセミナー ～早春編～」のお知らせ

2021年を迎え日本政府がカーボンニュートラルの実現を目指す2050年まであと30年を切り、脱炭素に向けた研究、技術開発が各分野で着々と進んでいます。リム情報開発は、脱炭素に向けたエネルギー産業の未来に関する考察を深めていただくための一助となるよう、以下の要項でオンラインセミナーを開催いたしますのでお気軽にお立ち寄りください。この立ち寄りセミナーは、エネルギーの動向をタイムリーに紐解く季刊誌「エネルギー通信」の発刊に合わせて開催しております。

◆テーマ : 脱炭素への舵取り 待ったなし ◆日時 : 3月11日(木) 14:00~15:30

◆形式 : Microsoft Teamsライブイベントを使用。事前にセミナーへアクセスできるURLをお送りします。3月10日(水)14:00~15:00の間に接続をお試しいただけます。

◆参加費 : 3,000円(税抜き) お申込みいただいた後、当方から請求書をお送りいたします。所定の口座へ3月9日(火)までにお振込みください。ご参加いただいた方に「エネルギー通信」(定価5,000円)の2月20日号、「クリーンエネルギー」最新号(5,000円相当)を進呈いたします。

◆下記のリンクより3月8日(月)までにお申し込みください。

URL : <https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat01/2021/1667737.html>

不明点やご質問がありましたら、何なりとお問い合わせください。

リム情報開発(株) 研修・セミナー開発チーム

電話 03-3552-2411 E-Mail info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

24日のレックス22は、22日から1.55ポイント上昇し100.92です

——リムレポートのご紹介——

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

◎Olefins (\$/MT)			
	CFR N.E. Asia	CFR S.E. Asia	FOB Korea
Ethylene	+ 1,040/1,060 +	+ 990/1,010 +	+ 1,040/1,060 +
Propylene	+ 1,100/1,150 +	+ 1,040/1,090 +	+ 1,070/1,120 +
Butadiene	+ 950/1,000 +	+ 900/ 950 +	+ 890/ 930 +

◎China Domestic (Yuan/MT)	
	East China
Propylene	+ 8,200/ 8,300 +
Propylene (Shandong)*	+ 8,450/ 8,550 +
Butadiene	+ 8,150/ 8,250 +
SBR	13,700/13,900
BR	12,500/12,600

*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.

◎Polymers (\$/MT)				
	CFR China	CFR S.E. Asia	China Domestic*	USD^
LDPE (Film)	1,390/1,410	1,420/1,440	11,500/11,700	1,492 -
LLDPE (Film)	1,030/1,050	1,080/1,100	8,800/ 8,900	1,138 -
HDPE (Film)	1,030/1,050	1,080/1,100	+ 8,600/ 8,650 +	1,109 +
HDPE (Yarn)	1,030/1,050	1,080/1,100	+ 8,400/ 8,500	1,087 +
PP (Homo) - BOPP	+ 1,210/1,230 +	+ 1,360/1,380 +	—	—
PP (Homo) - Yarn/INJ	+ 1,190/1,210 +	+ 1,340/1,360 +	+ 9,250/ 9,350 +	1,196 +
PP (Block Co) - INJ	+ 1,220/1,240 +	+ 1,370/1,390 +	—	—

*Yuan/MT, ^USD calculated from China Domestic.

◎PVC and Feedstocks (\$/MT)	
	CFR China
PVC	1,190/1,210
Ethylene Dichloride	570/ 600
Vinylchloride Monomer	1,010/1,040

◎Weekly & Monthly Average**				
	15. Feb - 19. Feb	Jan Ave.	15. Feb - 19. Feb	Jan Ave.
Ethylene	800/ 842	990/1,032	780/822	943/ 977
Propylene	984/1,006	965/1,005	924/946	905/ 945
Butadiene	810/ 860	819/ 865	760/810	769/ 815
FOB Korea				
Ethylene	800/842	974/1,016		
Propylene	954/976	942/ 967		
Butadiene	760/810	772/ 815		
China Domestic*				
Propylene	7,300/ 7,500	7,258/ 7,333		
Propylene (Shandong)	7,300/ 7,350	7,197/ 7,274		
Butadiene	7,000/ 7,200	6,317/ 6,494		
SBR	12,700/12,900	11,939/12,117		
BR	11,500/11,700	10,756/10,933		
CFR China				
	15. Feb - 19. Feb	Jan Ave.	CFR S.E. Asia	
			15. Feb - 19. Feb	Jan Ave.
LDPE (Film)	1,330/1,370	1,314/1,364	1,380/1,420	1,378/1,428

LLDPE (Film)	1,010/1,030	1,000/1,028	1,050/1,070	1,050/1,073
HDPE (Film)	990/1,010	982/ 996	1,050/1,070	1,051/1,077
HDPE (Yarn)	990/1,010	982/ 993	1,050/1,070	1,051/1,077
PP (Homo) – BOPP	1,080/1,100	1,089/1,109	1,210/1,250	1,204/1,239
PP (Homo) – Yarn/INJ	1,060/1,080	1,069/1,089	1,190/1,230	1,184/1,219
PP (Block Co) – INJ	1,090/1,110	1,099/1,119	1,220/1,260	1,214/1,249
	China Domestic*			
LDPE (Film)	10,600/11,000	10,708/10,944		
LLDPE (Film)	8,000/ 8,400	7,786/ 7,983		
HDPE (Film)	8,100/ 8,500	7,650/ 7,756		
HDPE (Yarn)	8,100/ 8,500	7,950/ 8,139		
PP (Homo) – Yarn/INJ	8,600/ 8,700	8,083/ 8,183		
	CFR China			
PVC	1,190/1,210	1,163/1,183		
Ethylene Dichloride	570/ 600	560/ 570		
Vinylchloride Monomer	1,018/1,048	1,080/1,100		

◎Spread/Olefins (\$/MT)**

	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	-75 -	75 -	461 +
Propylene	75 +	—	150 +	536 +
Butadiene	-75 +	-150 -	—	386 +
Naphtha	-461 -	-536 -	-386 -	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks (\$/MT)**

LDPE (Film)	329 -	PP/Homo (BOPP)	95 +	SM	229 -	EDC	281 -
LLDPE (Film)	43 -	PP/Homo (Yarn/INJ)	75 +	Phenol	-467 -	VCM	77
HDPE (Film)	-52 -	PP/Block Co (INJ)	49 +	PTA	32 -	PVC	165
				MEG	153 -		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

**These are reference prices and not price assessments.

◎オレフィン
○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着および韓国積みが1,040～1,060ドル、東南アジア着が990～1,010ドルといずれも22日から50ドル高となった。需給引き締め感を受けた。

北東アジア市場では新たに固定価格での商談は聞かれず。市場関係者からは需要家が固定価格で買付けに動いた場合、入札可能な水準は1,050ドル程度になるとの見方を示している。また、市況連動価格での成約可能な水準は北東アジア着市況に対し30～40ドル程度のプレミアムと伝えられてい

る。域外品の商談では4月着3,000トンが成約されたとの情報が伝えられた。域内、米国ともにエチレンの品薄感がある半面、誘導品相場の採算性が向上しているなか買い気が強まり、需給の引き締め感意識される展開となっている。

東南アジア市場ではタイの PTTGC が3月3～5日に到着する3,500～5,000トンを対象とした買付け入札を24日に締め切った。応札価格の有効期限は現地午後7時に設定されていることもあり、落札結果などの情報は明らかとなっていない。

サウジアラビアのペトロラービグが22日に2月26～27日積み9,500トンを対象とした販売入札を開示していた。ただし、この積み込み日では積載可能な船が手配できなかったこともあり、同社は2

月28日～3月2日積み6,500トンを23日に販売していた。また、同社は販売余力があるとみられ、3月初め積み6,000～6,500トンを25日までに販売する可能性があると考えられている。

○プロピレン

アジアのプロピレン相場は北東アジア着が1,100～1,150ドル、東南アジア着が1,040～1,090ドル、韓国積みが1,070～1,120ドルとそれぞれ22日比90ドル高。いずれも中国国内相場が今週入り後大幅に上昇したことを受けた。

北東アジア市場は、中国国内相場が今週に入り上げ基調となっているなか、商談水準が切り上がっている。買いアイデアは1,100ドル近辺、売りアイデアが1,150～1,200ドルで聞かれる。既報の通り、3月以降にアジアのプロピレン設備の定修が多く、供給にタイト感が見られる。また、欧米市場のプロピレン相場が堅調に推移するなか、アジア品が域外向けに輸出される状況が続いている。こうした状況下、当面プロピレン相場は強基調が続くそう。

韓国積みでは、ハンファトタルは同社の新ポリプロピレン設備の立ち上げ時期を当初の24日から

3月3日に延期した。これを受け、プロピレンが余剰となり、2月末積み2カーゴを市況連動価格で販売したとの情報がかかる。設備関連では、S-Oilの残油流動接触分解装置(RFCC)が不具合で稼働を停止したもよう。再開時期は不明。このため、不足分を近隣の石化メーカーとスワップなどで調達していると聞かれる。

中国国内では、華東地域相場が8,200～8,300元と22日比500元高、山東地域相場が8,450～8,550元と同150元高。多くの誘導品の相場が堅調に推移しているうえ、ポリプロピレン(PP)先物相場が今週に入り大幅高となったことが影響した。しかし、PPパウダーグレードとプロピレンの格差が縮まっており、買い気は弱まりつつあるもよう。こうした状況下、プロピレン相場に上げ一服感があるとの見方も多い。

○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は、北東アジア着が950～1,000ドル、東南アジア着が900～950ドル、韓国積みが890～930ドルといずれも22日比60ドル高。北東アジア着価格の上昇は中国需要家の買い気が強まっていることを受けた。東南アジア着と韓国積みは北東アジア着につれ高となった。

北東アジア市場では、中国需要家の買い気が国内相場の堅調推移を背景に強まっている。ファームな商談は聞かれないものの、成約可能水準は950～1,000ドル程度との見方が多い。台湾の需要家は

900ドル以下での買付けを希望しているが、同水準の購入は難しいと認識しているようだ。トレーダーによると、欧州のブタジエン相場が700ドル程度で推移しているため、アジア向けは最低でも1,000ドル以上で売りを提示する必要があるという。中国のブタジエン相場は8,150～8,250元と22日比800元高。需給引き締まりを受けた。売り手は先高観から足元相場での販売を渋っている。一方、一部小口需要家が生産を維持するため、積極的に買い付けているもよう。

◎ポリオレフィン

中国着のポリプロピレン(PP)相場はPP Homo Yarn/Injection(Inj)が1,190～1,210ドル、BOPPが1,210～1,230ドル、PP Block Coが1,220～1,240

ドルといずれも22日から130ドル高となった。大連商品取引所でPP先物相場がこのところ上昇していることを受けた。具体的な唱えは乏しいものの、

中国国内相場並みに上昇しているとの見方がある。

中国国内のポリオレフィン相場は高密度ポリエチレン (HDPE) Filmが8,600~8,650円で22日から325元高、HDPE Yarnが8,400~8,500円で同150元高、PP Homo Yarn/Injが9,250~9,350円で同100元高となった。HDPE FilmおよびHDPE Yarnはこれまで他のポリエチレン製品に比べ割安だったことから調整が入った。PP Homo Yarn/Injは大連商品取引所の先物相場高に連動した。

東南アジア向けのPP相場はPP Homo Yarn/Injが

1,340~1,360ドル、BOPPが1,360~1,380ドル、PP Block Coが1,370~1,390ドルでいずれも22日から140ドル高となった。品薄感を受けた。ベトナム向けにPP Homo Yarn/Injの中国品が1,400~1,420ドル（非関税）で売り唱えられている。ただ、ベトナムの需要家は国内品で必要量を手当てしようとしているもよう。また、このなか、1,360ドルを超えると買い手は成約をためらうようだと、ベトナム市場関係者は指摘している。

◎日本市場

○オレフィン

日本では2月13日の夜に福島県沖を震源地とした強い地震が発生、その後に発生した停電の影響で複数の製油所や石油化学設備が停止していた。製油所ではENEOS 仙台製油所が地震後に緊急停止し再開していない。一方で富士石油の袖ヶ浦製油所、出光興産の千葉事業所は再開している。ナフ

サクラッカーでは三井化学の市原工場が23日に再開した。これを受けて、同社の誘導品設備も立ち上げ作業に入る予定にあり、今後は各設備が再開し稼働率上昇後に、エチレンやプロピレンの需給バランスが精査される見込みだ。

2021 Olefin Production Unit Maintenance/Startup Schedule in Japan

Producer	Capacity	Start	Finish/Duration	Status
MITSUI CHEMICAL	612	13-Feb	23-Feb	Restarted
AMEC	570	14-May	13-Jul	Planned
MITSUI CHEMICAL	612	14-Jun	4-Aug	Planned

Capacity as Ethylene '0000mt/year, PDH, RFCC and MTP as Propylene Source: Rim survey

CDU Maintenance Schedule In Japan

Producer	Area	Capacity	Start	Finish/Duration	Status
ENEOS	Oita No. 3	136	12-May	2021 Summer	Incident
ENEOS	CHIBA	129	5-Feb	Mid Apr	Planned
ENEOS	SENDAI	145	13-Feb	NA	Emergency S/D

Capacity ('000BBL/Day) Source: Rim survey

◎PVCおよびPVC原料

塩ビ樹脂 (PVC) の中国着相場は1,190~1,210ドルと22日から変わらず。アジアのPVC市場は様子見ムードとなっている。供給面では、米国でテキサス州などを襲った寒波の影響により複数のPVC設備が停止、PVCメーカーがフォースマジュール（不可抗力条項の適用）を宣言していたのは既報のとおり。テキサス州を中心に原料を供給する設備だけではなく、ほとんどの石化設備が停止して

いるため、PVC設備の復旧は3月半ばごろになるのではとの見通しが聞かれる。このなか、アジアでも米国品の輸出先であるインド向けなどを中心に供給の限られた状況が当面続くとみられる。相場が先高に推移するとの懸念から買い気を示す需要家もいるようだが、アジアの売り手は売り物が限られており、売り急ぐ様子がない。

◎マーケットニュース**○三井化学＝市原のエチレン設備が稼働を再開**

三井化学は24日、同社市原工場のエチレンプラントを23日に再開したと発表した。同設備は2月13日に福島県沖を震源とする地震および、その後発生した大規模停電による影響で停止していた。同社は23日までに安全点検を完了、今回の再開作業に入っている。エチレンの誘導品など関連する設備も順次立ち上げにも入っており、現時点では設備の不具合などは確認されていない。同社は引き続き、安全を確保しながら通常稼働への復旧を進める考えとしている。

○石化協＝1月のエチレン生産、前年同月比4.4%増

石油化学工業協会（石化協）がこのほどまとめた実績によると、1月のエチレン生産量は54万1,400トンと前年同月比で4.4%増加した。前月比では1.3%増。当月、前月、前年同月のいずれも定修を実施するプラントはなかった。稼働プラントの実質稼働率試算は当月が99.4%と前年同月から8.4ポイント、前月からは2.4ポイントそれぞれ上昇した。

◎お知らせ**○『クリーンエネルギーレポート』創刊号発刊のお知らせ**

リム情報開発は1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。

お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLからは、12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

○OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2020年12月24日、証券監督者国際機構（IOSCO）により定められた石油価格報告機関（PRA）に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品（Products）、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断する



ことがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2021 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >